



碧高祭

文化部門
9月1日(水)
応援合戦
9月2日(木)
体育部門
9月3日(金)

緊急笑い宣言発令中! ~今花開く碧高生~

9月1日~3日、碧高祭が行われました。文化部門では、映像発表、文化部展示を楽しみました。応援合戦では、練習・本番ともに制約の多い中で精一杯取り組み、どの団も練習の成果を遺憾なく発揮していました。3日目となった体育部門はあいにくの天気でしたが、最後まで全力で競技に挑みました。例年の碧高祭とは大きく異なる形式での開催になりましたが、碧高祭への取り組みを通して得たものが、皆さんの人生を彩ることを願っています。

校長コラム 第2回

「今夏の困難と未来への展望」 校長 鈴木尚哉

令和3年の夏は、昨年度に続き新型コロナウイルスにより私たちの社会生活が大きな影響を受け続けました。特に感染拡大による第5波は、全国で1日あたり2万人を超える感染者数が続き、愛知県でも蔓延防止措置の延長さらに緊急事態再宣言もなされました。

ワクチン接種については高齢者から中学生や高校生を含む中若年層へ進んできましたが、副反応など健康への不安などから接種をためらう人もいます。

賛否両論の中で7月末から行われた東京オリンピックは、新型コロナの感染拡大を受け、結果的に原則、無観客により実施されました。競技そのものは日本人選手・海外の選手を問わず、すばらしい活躍や頑張りを見ることができ、感動を覚えるものも沢山ありましたが、その一方で準備段階から大会期間中まで関係者による差別的な言動、政治的な対立や諍い、アスリートファーストが叫ばれる中から垣間見えた商業主義など光と影が際立った大会でした。

また、今夏の天候は夏休みの前半の猛暑と中盤の豪雨被害という極端なものでした。私たちが住む愛知県、特に西三河地域は大きな被害はなかったものの、九州や中国地方を中心に大きな被害が出ました。

そのような中で、私たちの碧南高校では、昨年度は中止となった夏休みの中学生体験入学を実施できたのは幸いでした。感染防止策のため例年のような文化会館の使用は見送り、部活動見学もできませんでしたが、在校生による質疑応答の時間の設定といった新しい工夫も取り入れました。

部活動においては美術部の全国高等学校総合文化祭への絵画の出品、ヨット部の東海大会出場、ソフトテニス部の国体県代表選考会出場、吹奏楽部の県大会出場、野球部の夏の大会3回戦進出など、本校生徒の活躍が目立ちました。

9月には碧高祭が予定されており、準備が少しずつ進んでいます。コロナ禍で学校の教育活動で大きな影響を受けたのは文化祭や体育祭、修学旅行といった生徒の皆さんが一番楽しみにしている部分です。可能な限り実施をしていきたいと思いつながりが見えないもどかしさを感じているところです。

話は変わりますが、碧南高校では、未来に向け、施設設備面の充実も図っています。今年の夏から教室棟のトイレの改修工事が始まりました。続けて、商業科棟にプレゼンテーションルームの設置工事も予定され、来年度には商業科棟のトイレ改修も行われます。また、授業におけるタブレットの活用も逐次準備を進めているところで、来年度以降、本校に入学する皆さんの学習活動が一層充実したものとなるよう取り組んでいます。様々な困難に直面しても、碧南高校の在校生は大変よく頑張り、成果を上げると同時に、更なる発展へ向けて日々前進をしています。一人一人の力が合わさることで碧南高校での生活がより良いものとなっていくと信じています。

碧高生 活動紹介

碧高祭を終えて ~各分団長のことば~



赤誠分団長 | 三矢 真潤 (西尾市立一色中)

まず、このご時世で碧高祭を開催すると決定してくださった先生方、本当にありがとうございました。僕は分団長になりましたが、高校に入ってから人前に立つ機会があまりなく、何をうまくまとめるか、皆がちゃんとついてきてくれるか、とても心配でした。でも、練習が始まると、皆積極的・真剣に取り組んでくれて、すぐに不安がなくなりました。仲が良く、毎日の練習がとても幸せな時間でした。日々上達していく赤誠を見ていて、もう少しでこんな楽しい時間が終わってしまうという寂しさもありましたが、本番が近づくにつれ、皆のやる気をすごく感じました。本番では最高にかっこいい応援をすることができました。約1か月間、僕にとってかけがえのない大切な思い出になりました。赤誠の皆、大好きです。本当にありがとうございました。



白虎分団長 | 杉浦 洋平 (碧南市立南中)

分団長になって一番感じていたのは、不安と重圧でした。自分に団をまとめることができるのか、良い団を作ることができるのか。そんな時に助けられたのが、分団員の皆のやる気でした。頑張ろう、優勝しよう、そんな言葉に日々励んでいました。僕が一番頑張らなくてはいけない。そんな気持ちにさせてくれた分団員の皆には本当に感謝しています。一人一人が真剣に練習に取り組んでくれて、一人一人が腹から声を出してくれたおかげで、自分にとって今まで一番楽しい碧高祭になりました。本当にかけがえのない思い出です。そして、こんなご時世の中、碧高祭を開催してくださった先生方に本当に感謝しています。幸せな時間をありがとうございました。



青陵分団長 | 中原 悠斗 (碧南市立南中)

コロナ禍での開催で色々な制限がありましたが、開催してくれた生徒会や先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。練習が始まると、土日の練習がなかったり、例年と異なる部分が多く、皆の焦りが伝わってきました。そんな中で皆を引っ張っていかれるのか、適切な指示ができるのか、様々な不安がありましたが、すぐにその不安は無くなりました。指示を出せばすぐに答えてくれ、明るく楽しくのびのびと練習する環境ができました。頼りになる青陵のみんなが大好きです。賞はひとつも取ることが出来なくてとても悔しかったけれど、大好きな青陵の分団長を務めたことを誇りに思います。青陵のみんな!!最高の思い出をありがとう。青陵しかー?勝たん!!



玄黄分団長 | 橋山 遥伊 (高浜市立高浜中)

今年もコロナ禍のため、いろいろな規制やルールの変更、競技の減少、満足のいかない練習で悩みました。ですが、玄黄団が教えてくれたり、たくさん支えてくれ、自分は分団長の仕事を楽しくすることが出来ました。練習の時から玄黄は弱いと下に見られていました。なので、毎回返してやろうという思いで団全員で頑張り、その結果、映像、混成リレー、競技部門で優勝することが出来ました。団の皆に、3つも優勝を取ることが出来た団の分団長にさせてくれてありがとう!と伝えたいです。皆との碧高祭準備期間すごく楽しかった!玄黄の皆、良い思い出をありがとう!